

## 2021年市議会6月通常会議請願

- [請願第1号](#) 日本政府に核兵器禁止条約に署名・批准を求める意見書の提出を求める請願
- [請願第2号](#) 選択的夫婦別姓制度の導入を求める意見書の提出を求める請願
- [請願第3号](#) 新型コロナ感染症から大津市民の命と健康をまもるため、医師の判断を必要とせず誰でも何度でもPCR検査を受検でき、陽性者がひとしく医療保護を受けられる体制の確保などの大津市独自の施策の実現を求める請願
- [請願第4号](#) 大津市北部にコロナワクチン接種会場の設置を求める請願

## 日本政府に核兵器禁止条約に署名・批准を求める意見書の提出を求める請願

【紹介議員：共産党】

### 請願趣旨

核兵器禁止条約は、2017年7月7日、国連加盟国の3分の2にあたる122カ国の賛成で採択され、2020年10月24日、発効に必要な50カ国の批准を達成し、2021年1月22日に効力を発することとなりました。2月22日現在、署名国は86カ国、批准国は54カ国となっています。

条約は、その前文で、「ヒバクシャの許容しがたい苦しみと被害に留意」し、「核兵器のいかなる使用も人道の原則に反する」と明記し、条文では開発、実験、生産、製造、備蓄、移譲、使用の威嚇まで、核兵器にかかわるあらゆる活動を全面的に禁止しています。「原子兵器の撤廃」を掲げた国連総会の第1号決議(1946年1月)の実現へ、歴史的な一歩です。核兵器を違法とする初の国際条約ができたことにより、自国の「安全保障」を理由に核兵器を持ち続けることは正当化できなくなりました。

心と体に癒える事のない傷を抱えながら、自らの体験を語り「人類と核兵器は共存できない」と訴えてきた広島・長崎の被爆者と共に「核兵器のない世界」をめざしてきた日本と世界の市民社会、国連や各国政府の共同の力でつくられた条約です。

世界が核兵器廃絶へ大きな一歩を踏み出す中、日本政府は「保有国と非保有国を分断するもの」と、核兵器禁止条約に対し反対し続けています。「唯一の戦争被爆国として核兵器廃絶をリードする」と言いながら、核兵器廃絶の道筋を示した核兵器禁止条約に背を向ける日本政府の姿勢は、国際的にも厳しく批判されています。世論調査では7割以上の国民が日本は核兵器禁止条約に参加すべきだとしています。国際社会と国民の声に応え、日本政府はただちに核兵器禁止条約に署名・批准し、唯一の戦争被爆国としての役割を果たすときです。

大津市も加盟する平和首長会議は、2017年8月の第9回総会で、「人類の悲願である核兵器廃絶への大きな一歩となる核兵器禁止条約の採択を心から歓迎する」旨の、核兵器禁止条約の早期発効を求める特別決議を可決しています。また、560をこえる地方議会が日本政府に核兵器禁止条約への参加・署名・批准を求める意見書を採択しています。

大津市においてもぜひ意見書を提出していただくよう、次のことを請願します。

### 請願事項

日本政府が早急に核兵器禁止条約に署名・批准することを求める意見書を提出すること。

請願者：新日本婦人の会大津支部

## 選択的夫婦別姓制度の導入を求める意見書の提出を求める請願

【紹介議員：共産党】

### 請願趣旨

別姓を望む人に、その選択を認める選択的夫婦別姓制度の導入を求める声は、ますます切実です。現行の民法では夫婦別姓での婚姻が認められないため、望まぬ改姓、事実婚、通称使用などによる不利益・不都合を強いられています。夫婦同姓を強制している国は日本以外にはなく、両性の平等と基本的人権を掲げた憲法に反します。

国連女性差別撤廃委員会をはじめとする国連や国際機関も日本政府に対し、民法の差別的規定の廃止を繰り返し勧告しています。法制審議会は1996年に選択的夫婦別姓の導入などを含む民法改正の要綱を答申してから25年間たなざらしのままです。

2015年、夫婦別姓を認められるよう求めた裁判で、最高裁は民法を合意としたものの裁判官15人中5人が違憲と表明し、「国会で論ぜられ、判断されるべし」としました。

全国では、1992年から7府県158市区町村で選択的夫婦別姓の導入を求める意見書があがっており、滋賀県議会でも2020年3月23日・2021年3月19日に意見書が採択されています。

2020年、早稲田大学研究室と全国陳情アクションが合同でおこなった意識調査では、20～59歳の一般男女7,000名のうち、7割が選択的夫婦別姓に賛成しています。

法改正を求める訴訟の原告は「反対派は通称使用の拡大を主張するが、法的根拠のない名前が広がれば、契約などむしろ社会的混乱を拡大する」と批判しています。

選択的夫婦別姓に関して、世論は大きく変わっている今こそ、早期に民法改正にむけて国会で議論をすることが求められます。

大津市議会としても、国の関係機関へ選択的夫婦別姓制度の導入を求める意見書を提出していただきたく、ここに請願いたします。

### 請願事項

国の関係機関へ選択的夫婦別姓制度の導入を求める意見書を提出すること

請願者：新日本婦人の会大津支部

## 新型コロナ感染症から大津市民の命と健康をまもるため、医師の判断を必要とせず 誰でも何度でもPCR検査を受検でき、陽性者がひとしく医療保護を受けられる体 制の確保などの大津市独自の施策の実現を求める請願

【紹介議員：共産党】

### 請願趣旨

新型コロナ感染症が、猛威を振るっています。従来株から置き換わってきた変異株は、感染力は1.5倍、重症化リスクも1.4倍と高いとされています。事態は、「大阪、兵庫を中心に、医療提供体制や公衆衛生体制の非常に厳しい状況が継続しています。救急搬送の困難事例が継続し、一般医療を制限せざるを得ない危機的な状況が続き、また、自宅および宿泊療養中の症状の悪化に対して迅速な対応が困難となっている。」(厚生労働省アドバイザーボード)と極めて危機的な状況です。入院できないことから医療管理できず、体調異変に対応できないため重症化や死亡に至るという負のスパイラルに陥る恐れがあります。実際に、大阪府では施設や自宅などで医療を受けられずに死亡は18人、そのうち今回の第4波では17人(5/11救急搬送中や病院到着死亡含めず)と発表されています。

滋賀県においては、4月26日に県独自の「医療体制非常事態」を宣言しました。大津市でも連日、多くの陽性者が確認されており、直近1週間の10万人当たりの感染者数は35人(5/18)と、政府基準のステージ4(25人)を遙かに超えています。大阪府の極めて厳しい状況は、何の対策も打たなければ明日の滋賀県・大津市とも言えます。

感染がある程度広がってしまった段階では、地域や対象を絞って、面的にPCR検査の集中実施を行い、市中に広がっている感染者を探知することで、感染の拡大を抑えるという方法が効果的です。そのことを通じて、個別に感染の連鎖を遮断できる積極的疫学調査で感染拡大を防止できる程度まで低い感染レベルにまで抑え込むことが必要です。5月14日の菅義偉首相会見の際、尾身茂新型コロナウイルス感染症対策分科会長は「感染防御の観点からすると、確率が高いところに検査を集中することが効果的で、軽い症状がある人や具合の悪い人、そしてその周辺に幅広く検査を行うことは大きなクラスターを防ぐという意味がある」として広島県が行なっている大規模PCR検査について意義を認めています。

住民の福祉の増進をはかり、命と暮らしを守る責務のある地方自治体にとって、今、PCR検査と医療体制などの抜本的拡大は待ったなしです。つきましては新型コロナ感染症から大津市民の命と健康をまもるため、大津市独自の施策を行うよう、下記事項についてお願いいたします。

### 請願事項

1. 無症状者でも受けられるPCR検査センターを市内に複数設置し、発熱したり不安を感じたら医師の判断を必要とせず誰でも何度でもPCR検査を受検できるようにすること。
2. 訪問、通所系含むすべての高齢者・医療施設、学校、保育所、幼稚園、学童保育などの従事者、入所者・利用者への一斉かつ定期的なPCR検査を行なうこと。
3. 陽性者がひとしく医療保護を受けられる体制を確保できるようにすること。なお、現状において入院できない場合、在宅等での死亡を防ぐため生活支援やパルスオキシメーター等医療機器の貸与等できるかぎりの措置を講じること。

請願者：市民42名

## 大津市北部にコロナワクチン接種会場の設置を求める請願

【紹介議員：共産、清正】

### 請願趣旨

新型コロナ感染症は感染力のつよい変異株にとって変わり、いつ収束するか見通せず、市民に不安が広がっています。

ワクチンの予約が始まりましたが、コールセンターは繋がらず、スマホやパソコンを持っていても高齢者にとって操作は難しく、スマホやパソコンのない人もおられます。高齢者も予約できるよう電話体制の強化が求められます。

また、大津市北部には接種会場がなく、一番近い所でも雄琴の琵琶湖グランドホテルと遠く、会場がとれずの場合によっては瀬田会場まで行かなくてはならないこともあります。「家には介護の必要な妻がいて到底瀬田まで行けないから断った」

「足が悪く、2回目は大津北部か、かかりつけ医で接種できると嬉しい」と切望されています。

以上のことから、高齢者がコロナワクチン接種を安全・迅速に受けられるよう、以下の点について緊急に要求します。

### 請願事項

1. ワクチン接種に対する電話での相談の体制を強化し、予約が安心してとれること。
2. 大津市北部にもワクチン接種会場を設置すること。
3. 個別接種の周知徹底に努めること。

請願者：大津市北部にもワクチン接種会場を望む会